

第4回技術講座 朗読大会 審査結果および講評

2014年 3月23日 実施

順	結果	審査講評
1	B	サ行音の練習を。句末のびる傾向。語尾がのびる。「ある」が何回か強く感じた。全体におとなしすぎる。単調。発声はお腹から。滑舌、うねりあり。音の中で同じで単調に聞こえる。暗い感じ。
2	B	句末のびる。息が漏れる。意味の固まりをしっかりと把握して。地の文はもっと安定して。詮議ではの「で」はない。ミス。発声良い。句読点の工夫を。滑舌、意味の固まりをもう少しとらえて。
3	奨励賞	口先の発音に聞こえる。マイクに少し遠い。間を工夫している。元気な発声をすれば、食欲が表現できる。セリフと地の文、工夫している。スピード工夫している。少しくらい感じがした。
4	優秀賞	緩急うまく工夫している。「文」のアクセントに注意(どっち?)。最後の文は少し違う。感じを良く出せていた。セリフの処理うまい。高音の発声をしっかりと。相手に内容をついていようとしてよい。情景が浮かぶ。
5	B	テンポ一定に速い。「とても」違う。「節の」「しなくなるし」などのアクセント。単調。イントネーション波うってる。胎児な言葉を立てよう。意味の固まりをとらえて。うねりあり。
6	奨励賞	文末しっかり下げよう。最後はどうか。台詞もう一工夫。句読点を考えて間を工夫している。腹式の発声を。地の文とセリフの工夫もう少しあった方がよい。単調。
7	A	もう少し声量がほしい。緩急の工夫も必要。もう少し元気に。発声、時々息漏れする。後半の「～かしら」の工夫を。滑舌、スピード一定で情景見えにくい。
8	A	声のハリよい。少しゆっくり過ぎる。「油のせいか」の処理。前の間が大きすぎ。「来客があると」の後開けすぎ。テンポに工夫を。読点の間を取りすぎるところある。「みずみずしい～」の部分は良く伝わる。セリフの終わりもっと丁寧に。滑舌、言葉の出始めスムーズに。
9	A	「日常」「フシ」「からだ」声のハリよい。アクセント注意。「手入れ」「したからだ」など文末不明瞭。大切な言葉を選んでしっかり伝えよう。滑舌(八行など)の練習を。言葉はつきりしないところ少しあり残念。
10	A	サ行音。「」の前後。テンポ少し速い。語末や助詞が少し強い。口の開け方を工夫すると母音が分かりやすくなる。意味の固まりで読んで。少しくねり残る。
11		欠席
12		欠席
13		欠席
14		欠席
15	B	「時には」口先の発音に聞こえる。うねる所があるので、大切な言葉を立てる練習を。「15番」のアクセント。台詞はもっと自然に。音・意味を丁寧に扱って。

第4回技術講座 朗読大会 審査結果および講評

2014年 3月23日 実施

順	結果	審査講評
16		欠席
17	B	フレーズ細切れ。声・息をしっかりと保持しよう。「そのため」のアクセント。もっと声を出そう(細い)。口の開け方を練習すれば、もっとクリアな発音になる。意味に固まりで読んで。中身の意味を考えて。
18	A	「行きませんか」のばさない。男の子が「～かしら」を上げて読むのはちょっときついね。ナ行とダ行の練習を。もっと元気よく。意味の固まりをとらえて、読み方に工夫ができています。
19	A	「 」たてすぎ。声のメリハリのつけかたはこれでいいのか。ついてくるのかしらの「の」はない。押さえるところを押さえるぎている。(全体に軽やかでよい。)意味の固まりを考えようとしている。文頭の音の高さを工夫しよう。
20	奨励賞	フレーズがもうひとつ。「たまたま」のアクセント。滑舌について母音の口の開け方の練習をしよう。地の文とセリフ同じ調子に聞こえる。言葉をもう少し丁寧にするともっと良くなる。
21	優秀賞	「 」の処理。全体にピッチを上げたほうがいいのかも。もう少し軽やかに読む内容。声は良い。意味の固まりを考えて読んでいます。音明るい。
22	A	声のハリは良い。文末・句末処理もう一つ。アクセント。「地表から」を飛ばした。うねっている。文頭を高く読む練習を。セリフと地の文の調子同じ。文末速くなりがちで落ち着いて聞きにくい。「しょくりん」「するからだ」の滑舌。う行。
23		欠席
24	A	「 」部分もう一つ。「山は」に注意。聞きやすい。アクセント。後半の雰囲気重くなった。セリフの入り方に工夫を。声はクリアで聞きやすい。単調。滑舌甘いところある。
25	優秀賞	声をもう少しマイクにのせよう。最後の3文は考え方次第(全部上げる必要ある?)最後の「～かしら」はちょっと入れすぎたか。「～かしら」の読みかた、幼すぎるかも。マイクに少し遠い。読み方、表情の工夫をしている。
26	A	後半ブツ切れ。アクセント。「あらわれなかった」など。良い声。意味のまとまりを考えよう。
27	B	声のハリは良い。棒読みに感じる。単調。意味を考えて全体の流れをつくろう。標準語を確かめてアクセントの練習を。情景浮かべて読もう。単調に聞こえる。
28	優秀賞	声のハリは良い。木曾殿のアクセント。「 」内が芝居がからないように。強い声は良いが、余計に力を緩急つけすぎ。テンポうまい。意味の固まり、とらえようとしていた。
29		欠席
30	A	全体に低すぎる。最後の段落悪くない。台詞の言い方はそうではない。地の文にもう少し変化がほしい。セリフの部分は良いが、地の文は発声をもう少し強く。

第4回技術講座 朗読大会 審査結果および講評

2014年 3月23日 実施

順	結果	審査講評
31	優秀賞	声のハリ、響きともに良い。しっかり声を出せた。意味がよく伝わった。セリフの言い方に工夫を。発音は聞きやすい。読みの工夫をしている。
32	B	文末・句末で力を抜く必要がある。声量はある。地の文と台詞の差がない。単調。アクセントの工夫を。語尾が伸びるところがある。発声。うねる。意味をとらえて。最後の3文かたい。
33	優秀賞	意味のまとまりを考えて読んでいる。内容が良く伝わる。「 」たてすぎ？文末はもう少し下げたい。男の子が「～かしら」を上げて読むのはちょっときつい。全体に強調しすぎ。ヘッドボイスに注意。
34	B	口先の発音に聞こえる。サ行。助詞の「は」の処理。声は出ているが雰囲気暗くなった。うねっている。滑舌の練習を。発声・滑舌・言葉を丁寧に。
35	奨励賞	文の終わり部分が焦って感じられる部分あり。「キャベツ」に力を入れない。「いうだけで」「決めたとき」の語尾が高くなる。最後少し感情入れすぎ。内容を伝えようとしている。速い。前半と後半のスピードの差ですぎた感じ？
36	奨励賞	読み違い数か所あり。いい感じだが、少し切りすぎ気味。セリフと地の文の区別に工夫を。意味の固まりの中でうねる。
37		欠席
38	優秀賞	「 」部分。意味が良く伝わった。読点の間に工夫を。内容を考えて読んでいる。表現の工夫している。明るい。
39	A	「けたたましく」もう少しゆったり。「けたたましく」「おっしゃいます」などを言えていない。「たまって」などアクセント。滑舌の練習を。少し速いか。意味の固まりの中でうねる。
40	A	少しマイクに近い。少し重たくなってしまった(特に後半)。セリフの工夫を。タ行とダ行の練習を。相手に伝える意識をもっともつと良くなると思う。
41		欠席
42	A	「 」部分。鼻濁音「が」。全体に大仰になっている。もっと軽快に。アクセントの確認を。意味の固まりをとらえている。滑舌。
43	A	「虫の知らせ」落としすぎ？「 」部分も工夫の余地あり。御染みになさったの「に」ない。感じは出ていた。滑舌の練習を。音が消えるところある。情景を思い浮かべることができた。
44	A	フレーズが短すぎる。「ザイモク」のアクセント。明るくて良いが、少し切りすぎ。アクセントの確認を。うねっている。発音はクリアで聞きやすい。明るい声。
45		欠席

第4回技術講座 朗読大会 審査結果および講評

2014年 3月23日 実施

順	結果	審査講評
46	奨励賞	文末、下からない部分あり。「～かしら」3連発を上げ気味に男子が読むのはきつい。読点の後の間が長いところが少しある。テンポに工夫を。意味のまとまりを考えて読んでいる。意味の固まりをとらえている。工夫している。
47	A	地の文も少しテンポを落とそう。マイクに近い(息入る)。知ったのはの「もの」が抜けた。声はいい。滑舌の練習を。所々聞き取れない。地の文とセリフ工夫している。情景浮かぶ。
48	B	ただ読んでるだけ。マイクあっていない。滑舌。地の文も、もう少し変化を。意味を考えて読もう。リズム単調。意味の固まりとらえて、音の高低を工夫しよう。
49	A	「 」部の演出。サ行音に注意。その方は「ほう」です。アクセント(虫の知らせ)単調。滑舌の練習を。マ行・ラ行。情景浮かぶように工夫して読んでいる。滑舌。
50	B	声にハリが乏しい。音の粒立て不足。マイクあっていない。単調。快活さがほしい。元気な発声を。うねっている。文頭は高く読もう。単調。相手に伝えて。
51	B	「もったいないですよ」の演出。中盤たどたどしく感じる。火の不始末の火に注意。読み込み不足。単調。練習不足？うねっている。アクセントを確かめて読みの練習にはいろいろ。情景浮かびにくい。意味をしっかりとらえて。
52	B	文末処理に注意。アクセント・イントネーションともに不自然。「そうして」「まるで」などの接続後が下がりすぎ。本文に入る前に間を。アクセントを確かめよう。うねる。意味とらえにくい。
53		欠席
54		欠席
55	A	「～か」部。はつらつの「つ」に注意。「55番」のアクセント。もう少し軽快に。文頭を高く読んで聞きやすい。工夫しようとしているがもっと表に出して自信を持ってやってよい。
56	B	ブツ切れ。文末処理に注意。「た」「か」「には」など語末は上げない。単調。タイトルと本文の間はもう少し開けること。
57	A	サ行音もう一つ。全体に同じ感じになった。間の取り方に工夫を。切りすぎている部分あり。意味をとらえている。相手にもっと伝えて。
58	B	「 」は一息で。全体声を押し殺したよう。文末・句末の処理に注意。アクセント。平板で単調。小説の持つ明るさを伝えるには声のトーンが低い。うねって意味の固まりをとらえにくいところあり。
59		欠席
60	B	口のさばきが悪い。「ウ」段。滑舌練習。あわてない。緊張しすぎ？もう少し落ち着いてゆっくり読もう。速い。意味をとらえて。

第4回技術講座 朗読大会 審査結果および講評

2014年 3月23日 実施

順	結果	審査講評
61	奨励賞	声のハリは良い。「 」部、声をそこまで張り上げる必要があるか？セリフ(名乗り)とはいえ、そこまで立てると演劇。地の文もメリハリつけすぎ。意味を考えて読んでいる。語尾の切り方に工夫を。情景浮かぶ。意味の固まりをとらえている。スピード工夫している。
62		欠席
63	B	「さまは」はもう少し一音ずつ粒立てで。もっと意味・状況を把握して。「たまた」のアクセント。声は良く出ている。地の文が平板。滑舌の練習を(サ行・ラ行)。もう少しゆっくり読もう。速い。意味の固まりをとらえている。テンポ同じ。
64		欠席
65	A	声のハリは良い。文のスピードが急すぎる(後半の加速)。声は良い。うねっているところあり。勢いのある発声は良い。意味の固まりもう少しかっちりとりえて。少し速い。
66	A	もっと声のハリがほしい。そつと読んでいる。もう少し声量がほしい。イントネーションの流れは良かった。腹式発声の練習を。内容を考えて読む工夫をしている。人に伝えて。
67	優秀賞	緩急うまく使っている。一つ一つの文は良いが、文章全体の流れを表現できればなお良い。テンポよい。内容が伝わっている。意味の固まりをとらえて読んでいる。声聞きやすい。
68	A	「おりてきた」のアクセント。和尚の言葉の演出。緩急や強弱の変化を活用したい。強弱の位置が大意とあっていない。声は良い。勢いのある発声は良い。所々音が消える。意味の固まりをとらえて。速い。うねり残る。